

「2023年夏季ボーナス及び暮らし向き」アンケート調査結果について

当研究所では、毎年「夏季ボーナス及び暮らし向き」アンケート調査（6月調査）を実施しており、この度、2023年の調査結果を取りまとめましたのでお知らせいたします。なお、概要版は当研究所機関誌「福島の進路」7月号（6月28日発行）に掲載し、詳細版は当研究所ホームページに掲載しております。

福島の進路

検索



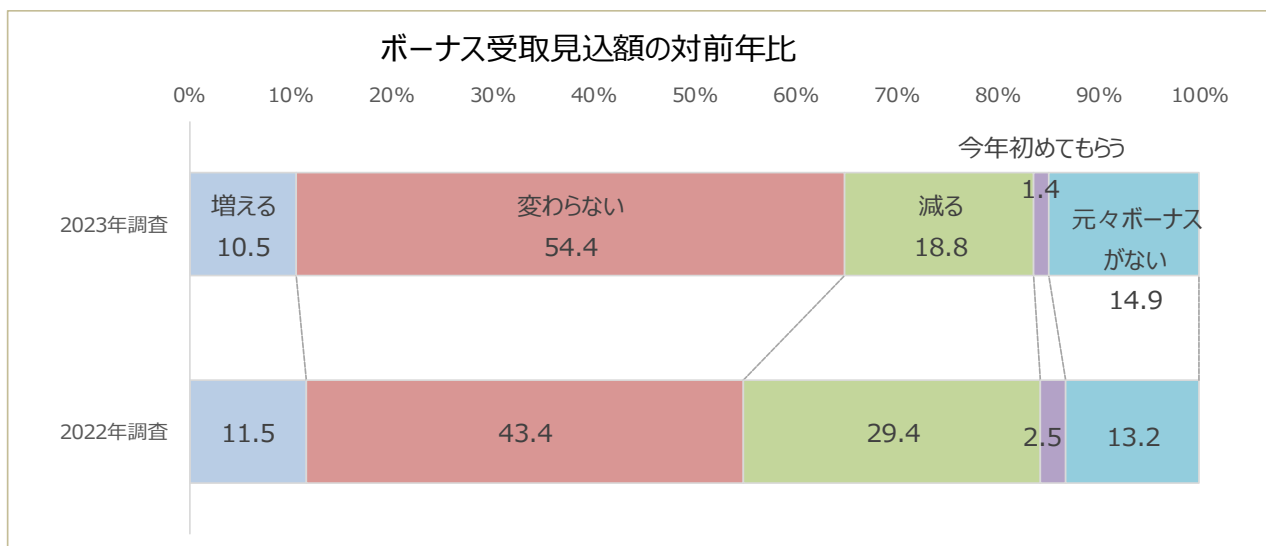
<要旨>

- 2023年の受取見込額は、「減る」が大きく下降し、下げ止まり感が出てきており、ボーナス支給環境に改善の兆しがみられる。
- ボーナスの消費支出予定項目は、例年同様、外食と旅行が上位を占めており、特に「県外旅行」は行動制限の緩和を受けた影響もあり、前年比20%以上の大きな上昇となった。
- 現在の暮らし向きは、前年よりも「悪くなった」の割合が35.8%（前年比+6.7%）と上昇し、「悪くなった」が「良くなった」を26.8%上回っており、物価上昇などの影響から前年に比べ、暮らし向きが悪化しているものと思われる。
- 物価上昇の影響は県内ほとんどの家計で負担となっており、「水道・光熱費」「飲食料費」「ガソリン費」での回答割合が高かった。

1. 2023年夏季ボーナスアンケート調査結果

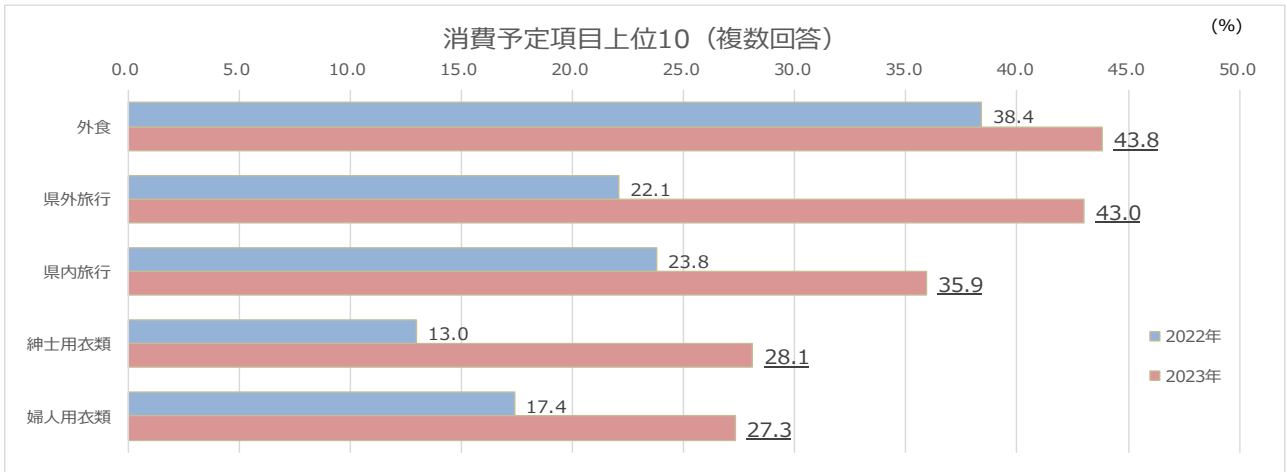
（1）受取見込額の増減

2023年の受取見込額の前年比増減をみると、「変わらない」が54.4%と半数を超え、「減る」は18.8%、「増える」は10.5%となった。昨年調査と比較すると、「減る」が大きく下降し、下げ止まり感が出てきており、ボーナス支給環境に改善の兆しがみられる。



(2) ボーナスの消費支出予定項目

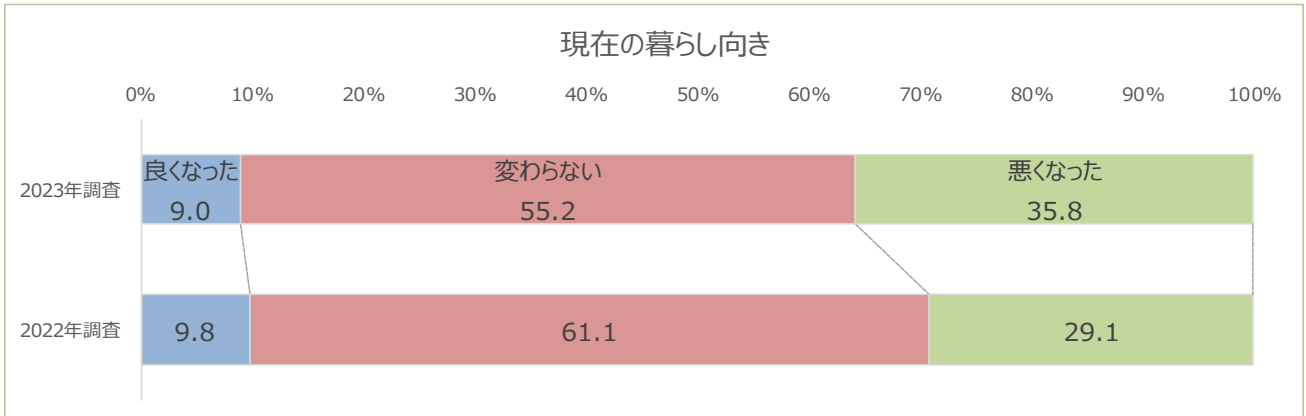
ボーナスの消費支出予定項目の上位をみると、「**外食**」43.8%（前年比+5.4 ㊦）が最も高く、次いで「**県外旅行**」43.0%（同+20.9 ㊦）、「**県内旅行**」35.9%（同+12.1 ㊦）となった。外食やレジャーは前年より割合が上昇しており、特に「**県外旅行**」は前年比 20 ㊦以上の大きな上昇となった。



2. 暮らし向きアンケート調査結果

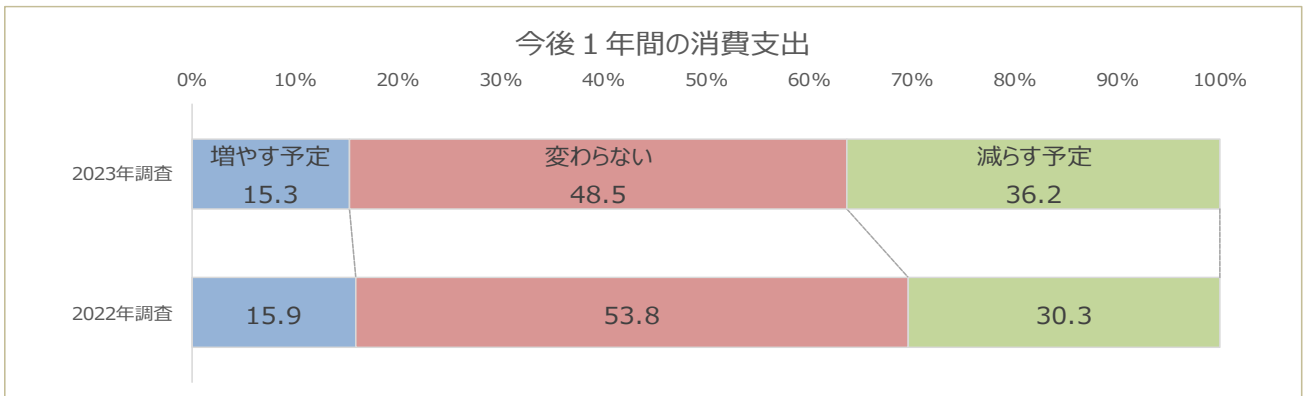
(1) 現在の暮らし向き

1年前と比べた現在の暮らし向きは、「悪くなった」が「良くなった」を26.8 ㊦上回っており、物価上昇などの影響から前年に比べ、悪化しているものと思われる。



(2) 今後1年間の消費支出

前年よりも「減らす予定」が5.9 ㊦上昇しており、今後1年間の暮らし向きが悪化する見通しから、総じて消費支出を減らす意向が強まっているものと思われる。

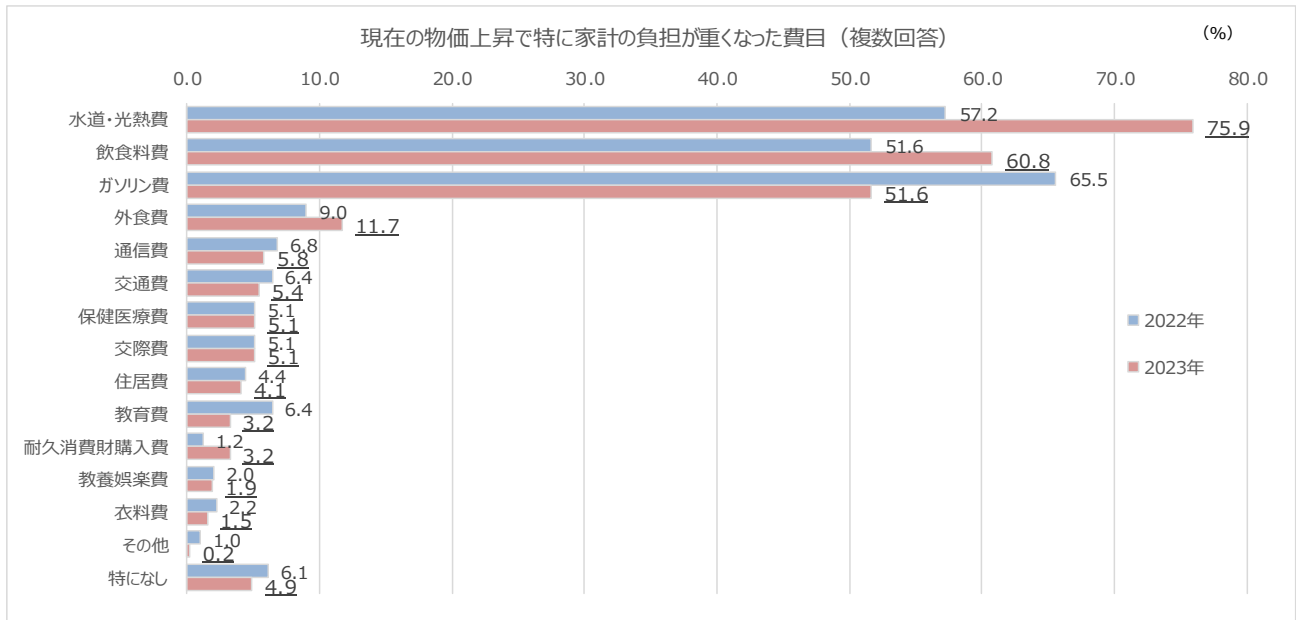


3. 物価上昇の家計への影響に関する調査結果について

今回調査では、物価上昇が県内の家計に及ぼしている影響や家計での取り組みについてアンケート結果をまとめた。

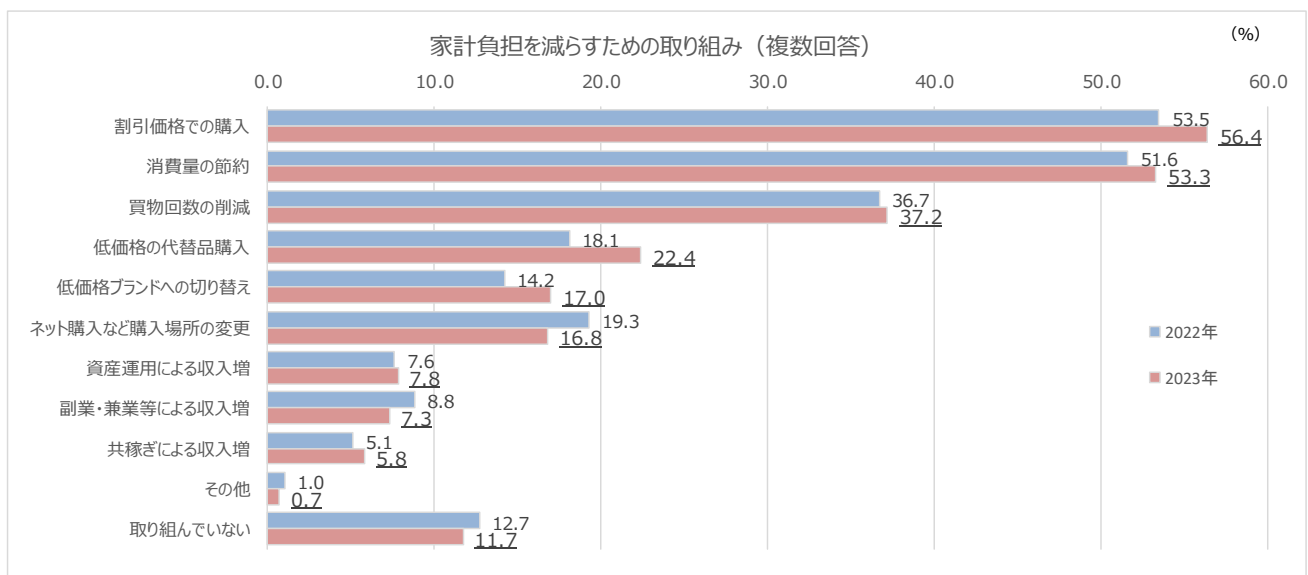
(1) 家計の負担が重くなった費目

「ガソリン費」は価格が高値安定したことで前年よりも割合が大きく低下したが、「水道・光熱費」は電気料金の値上げもあり、前年よりも+18.7 ㊦と多くの家計で負担が重くなっている。



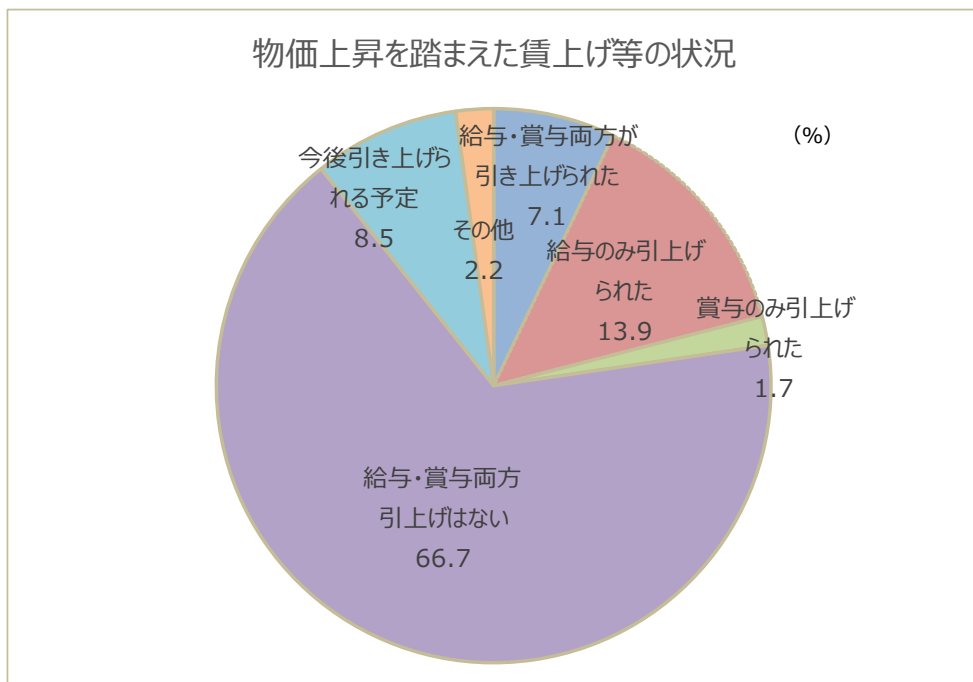
(2) 家計負担を減らすための取り組み

県内の9割程度の家計で何らかの取り組みが実施されているが、収入増を図るための取り組みの項目はいずれも10%未満であり、まずは消費支出面での見直しを図る傾向がみられる。



(3) 物価上昇を踏まえた賃上げ等の状況

物価上昇を踏まえた賃上げ等の状況については、「給与のみ」「賞与のみ」「給与・賞与両方」の何らかの形で計 22.7%の家計で賃金面での改善が行われており、「今後引き上げられる予定」を含めると3割に達している。



<アンケート調査要領>

(1) 調査方法

民間調査会社によるWeb調査

(2) 調査実施期間 2023年5月24日～5月31日

(3) 回答者 福島県内に居住する民間企業の正社員・公務員等439人

① 回答者の性別 男性：49.9% 女性：50.1%

② 年齢別構成

年齢	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	計
構成比	20.0%	22.8%	22.3%	22.8%	12.1%	100.0%

本件に関する質問・お問い合わせ先

担当：高橋 TEL 024-523-3171 (9:00~17:00)